

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	尼崎車庫鉄道ビル	階数	地上6F
建設地	兵庫県尼崎市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	657 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年1月28日
敷地面積	60,684 m ²	作成者	久米設計 李 勝煥
建築面積	913 m ²	確認日	2025年2月14日
延床面積	5,230 m ²	確認者	久米設計 入交 浩平



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 76%

③上記+②以外の 76%

④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	2.6
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	2.8
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	1.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システ	2.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	2.7

3 設計上の配慮事項	
総合	必要機能をコンパクトにまとめ建物のボリュームを計画し、BCPや環境負荷抑制にも配慮している。
その他	-
Q1 室内環境	建物として断熱性能を確保、居室に面する外壁には開口部を設け、十分な採光・通風を確保している。
Q2 サービス性能	免震構造による耐震性能の向上や非常用発電機の設置によるBCP対応、また階高及び天井高さを確保し、利用者の快適性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	既存レンガ倉庫の外壁イメージを継承する外装計画としている。
LR1 エネルギー	高効率な設備システムを採用するとともに、外壁側は熱負荷を抑制する計画としている。
LR2 資源・マテリアル	節水器具やリサイクル材の採用により、資源保護を図っている。
LR3 敷地外環境	敷地周辺の公園と街並みの関係性を配慮した景観計画をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される